グアムで見て、聞いて、感じて、学んだ4日間
～We are all one～

姉妹校提携先のイナハラン・ミドル・スクールの生徒との集合写真

笠松町では、国際感覚をもった人材の育成をめざし、次代を担う中学生を対象に、平成5年から青少年海外派遣事業を行っています。今年は、10月9日から12日までの3泊4日の日程で21人の中学生をグアム（アメリカ合衆国准州）に派遣しました。

今回は、昨年12月に笠松中学校とイナラハン・ミドル・スクールが姉妹校提携締結後、初めての派遣であり、現地生徒との交流に重きを置くものとなりました。イナラハン・ミドル・スクールでは、英語で行われている授業への参加、グアムの伝統的な踊りのチャモロ・ダンス体験、学校のカフェテリアでの給食などで学校生活を体験するとともに、書道、折り紙などの日本文化の紹介をするなど交流を図りました。

また、グアム州知事の訪問、現地大型スーパーでの買い物、島内最大のショッピングセンターでの昼食など、日ごろ学んだ英語を活かして会話をしたり、グアムの透き通った海で野生のイルカウォッチングやシュノーケリングを楽しんだり、日本では経験することができない4日間を過ごしました。

参加者による海外研修の報告を紹介します。

グアムの伝統的踊りのチャモロ・ダンス体験

後日、研修の成果を発表しました